



(写真) CMF チェンマイセーフハウスにて

## ・ Child's Dream との出会い

2016年に、知り合いのご夫妻が Child's Dream のプロジェクトとして、ラオスに学校を設立されました。その際に開校式に一緒に参加させていただいたのが最初のきっかけです。そこで初めて Daniel さんから幅広い活動内容を知り、国際協力の分野に興味を持ちました。

## ・ 活動内容

短期間でしたが、看護師ということもあり、医療に携わる分野 Children's Medical Fund(CMF)での活動に参加させていただきました。先天性の疾患、貧困から十分な治療を受けることができない0歳から12歳のラオスやミャンマーからの子供たちをチェンマイの大学病院で専門的治療を受けるためのサポートをする仕事です。そこで、移民問題が深刻であることを知りました。その後、ミャンマー事務所の活動の一つに参加しました。タイとミャンマーの国境に接する町メーソトでの学校プロジェクト、移民学校や科学技術専門学校、職業訓練センターを見学し、現在の状況や問題点などの説明を受けま

した。また、ミャンマーに入国し、カレン民族の地域に設立された学校や寄宿学校へフォローアップの訪問も一緒に参加しました。



## ・ 活動チーム

CMF チームはチェンマイ大学病院の近くで、セーフハウスという治療が必要な子供たちと親が宿泊する施設で活動しています。病院ではタイ語なので、CMFでは複数の言語に対応できるスタッフがいて、治療に来られた子供達も安心して活動している様子でした。CMF マネージャーの Ta さんを中心に、明るくて優しいスタッフが素晴らしいチームワークで、忙しい業務もスムーズに遂行されていました。言葉がわからない中でも、助けていただき、楽しい職場環境でした。

# Child's Dream ボランティア 活動レポート AMADA AYUMI



2018/6/18~2018/7/6



## ・ 活動を通して

2年前のラオスの学校訪問を始め、今回のCMFやミャンマーでの活動の中、教育を通して彼らの自立を目指していること、その重要性を改めて感じました。多くの支援が各国から入っている中で、お互いに協力し、改善に向けて多大な努力、活動をされていることをボランティア活動の中で学び、貴重な経験となりました。

